

英語科学習指導案(本時案) 6 学年

単元名 『My summer vacation』

平成 30 年 8 月 30 日(木) 第 2 校時  
 授業会場 6 年東組教室  
 6 年東組 男子 19 名 女子 16 名 計 35 名  
 指導教官  
 授業者

1 本時の位置 (全 8 時間扱い中の第 1 時)

前時:

次時: 過去のことを表す表現に出会う活動をする。

2 本時の主眼

夏休みの思い出話を聞き、自分の思い出を共有したいと思う子どもたちが、過去形の表現を使って夏休みの思い出を聞いたり伝えたりする場面で、インタビューゲームで話したり聞いたりすることを通して、ate を使った表現を使うことができる。

3 指導上の留意点

- ・まず、夏休みの写真を提示し、“I ate ~.” を使って教師の思い出を表現する。
- ・インタビューゲームをする際には、教師のお手本を見せ、まず、ペアでの活動を行い、その後動き回って 3 人以上に聞くという流れにする。

4 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 あいさつをする  Head, Shoulders, Knees, and Toes を歌う、おどる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Good morning!</li> <li>・ I'm fine. / I'm sleepy.</li> <li>・ 下を向いて何も言わない子がいる</li> <li>・ (It's) Sunny!</li> <li>・ なにやるの?</li> <li>・ 歌うのやだよー</li> <li>・ めんどくさい</li> <li>・ 歌えなくても振り付けを真似する</li> <li>・ 歌う</li> <li>・ スピードアップを楽しむ</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 席を読み聞かせの形にする</li> <li>○ 英語であいさつをする。</li> <li>○ “Good morning, everyone! How are you?”</li> <li>○ “How is the weather today?”</li> <li>○ 発言しかけている子、普段発言をする子を指名し、ワンフレーズを答えてもらう。</li> <li>○ “Now, we sing ‘Head, Shoulders, Knees, and Toes’ .</li> <li>○ まず、パソコンを使い、歌だけ流す。そのあと全員起立し、体を動かしながら歌う。</li> <li>○ “ Please stand up. Let' s sing and dance.”</li> <li>○ やる気のない子には無理やり歌わせることはしない。ただ、全員起立するように促す。</li> <li>○ 教師は振り付けを大きくし、後ろの子にも伝わるようにする。</li> </ul>

展 開	2 教師の思い出を 発表する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏といえばすいかでしょ</li> <li>・暑いし、アイスが食べたいなー</li> <li>・僕はね、～食べたよ</li> <li>・そうめん食べすぎて飽きたなあ</li> <li>・△△で食べたラーメンがおいしかった</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Today, I will talk about my summer vacation.</li> <li>○スクリーンに写真を提示する</li> <li>○I ate shaved ice.</li> <li>○I ate Somen.</li> <li>○I ate grilled corn.</li> <li>○What did you eat?の文をスクリーンに映し、反応の様子を見る</li> <li>○子どもたちが食べたものをつぶやいていた場合、話を取り上げる。</li> <li>○夏休みに食べたものがテーマであると意識づけをする。</li> <li>○英語の指示を理解している子どもの発言も拾い、子どもが子どもに内容を説明するようにする。</li> </ul>
	学習問題 夏休みに食べたものを紹介しよう			
末	3 実習生の思い出 クイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中澤先生は東京行ったって言ってたよね 何食べたかなあ</li> <li>・高橋先生は釣りが好きだから魚だよ</li> <li>・小宮山先生は甘いもの食べてそう</li> <li>・牧野先生はチーズタッカルビじゃない？</li> <li>・いいなー、○○おいしかった??</li> <li>・なんて言ったの？</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ “Next is a quiz!”</li> <li>○予想する時間を3分設ける。</li> <li>○解答発表前に何人かに予想を聞く。</li> <li>○実習生本人に答えてもらう。写真をパワーポイントで提示する。</li> <li>○I ate～. の文を使った文を聞く活動であるため、子どもに英文を言わせることはしない。</li> </ul>
	学習課題 ate を使うと食べたものを伝えられそうだ			
	4 インタビュー ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・What did you eat?</li> <li>・I ate ice cream.</li> <li>・I ate ramen.</li> <li>・I ate sushi.</li> <li>・いいなあ、私も～を食べたかったな</li> <li>・どこに行ったの？</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まず、教師が手本を見せる</li> <li>○ “We will have a demonstration.”</li> <li>○全体でフレーズの確認（タイラー先生の発音後、児童も繰り返す。）</li> <li>○二人ペアでやり方を確認する。</li> <li>○ “Let’s play interview game!”</li> <li>○ “Please ask three friends and sit down.”</li> <li>○ “What did you eat?” と聞き、“I ate～.” と答える。3人に聞いて着席する</li> <li>○活動が進んでいなかった場合、スムーズにいつているところを例として、その場でやってもらう。他の児童は着席する。</li> </ul>
5 本時の追究を 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの思い出を英語で伝えたい</li> <li>・もっと過去を表す言葉を知りたい</li> <li>・みんながいろいろなものを食べたことがわかった。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ “Please write your review.”</li> <li>○配布したプリントに記入欄を設け、授業終了後回収する</li> </ul>	
				評価：ate を使って思い出を表現することができたか